

就学児保護者を対象とした
【全天候型こどもの遊び場】
ニーズ調査
分析結果

印西市子育て支援課子ども政策係

調査の背景と目的

- **調査の対象と目的**

令和7年9月5日～12日にて小学生の保護者を対象に【全天候型こどもの遊び場 ニーズと利用意向】を調査した。

- **調査方法**

スクリレ（連絡ツール）を使用し保護者へ依頼、アンケートを実施した。

アンケート回答数1348件

- **背景の社会課題**

猛暑や豪雨等による屋外遊び場の安全面などが懸念となり課題となっている。

- **調査内容の多角的把握**

こどもの過ごし方や遊び環境評価、屋内遊び場の利点や利用実態を詳細に調査した。

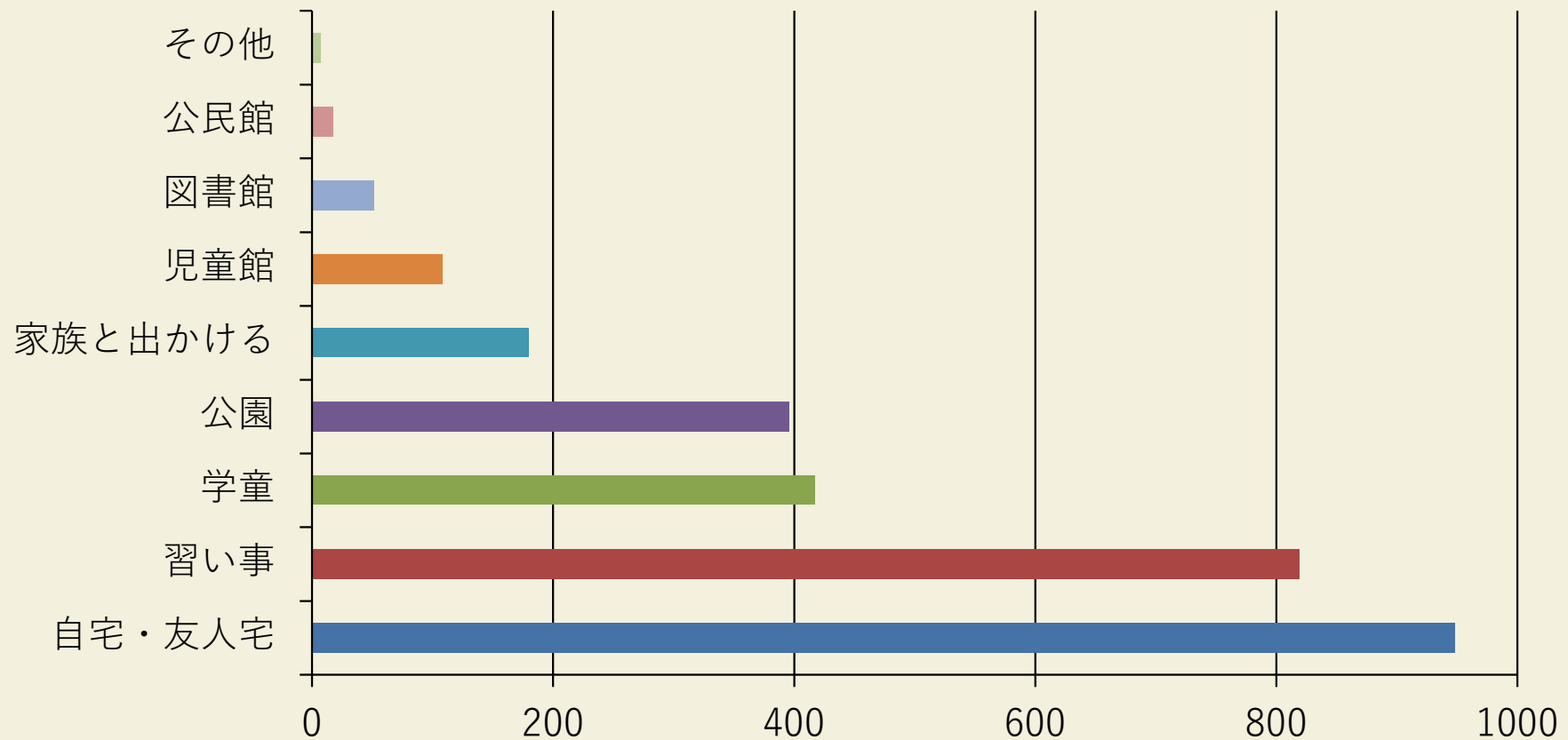
- **調査の実践的意義**

施設設計や運営、料金体系検討に活かせる具体的な示唆を得ることを目指す。

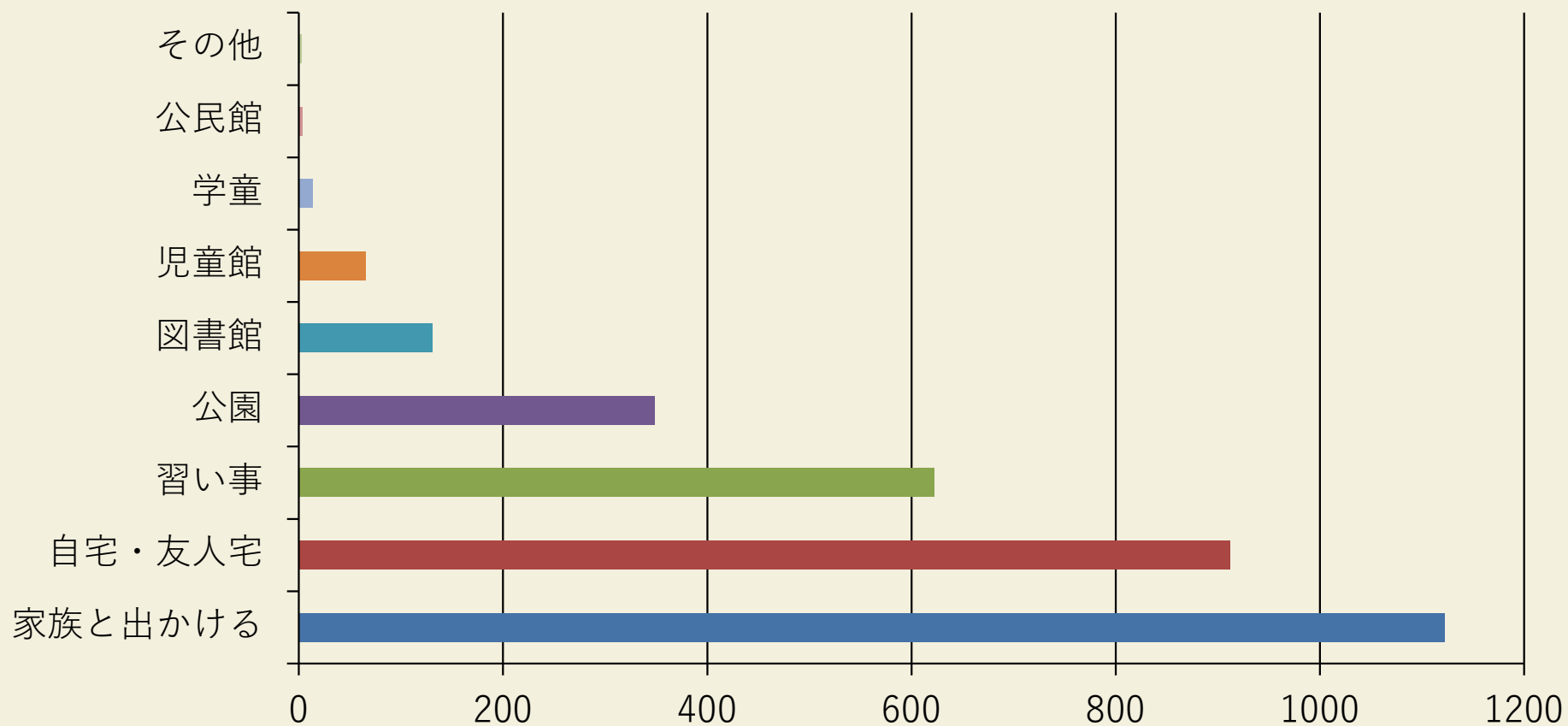
アンケート質問項目

- 放課後はどのように過ごしていることが多いですか
- 休日はどのように過ごしていることが多いですか
- 現在、市内でこどもを遊ばせる場所について、どのように感じていますか
- 全天候型こどもの遊び場があることで、あなたやご家族にとってどんなメリットがあると思いますか
- 普段室内のこどもの遊び場を利用する方（民間施設を含む）はどのような理由で利用されていますか
- 利用したい頻度について
- 利用したい時間帯について
- 希望する設備・機能について
- 利用料金について
- 1回あたりの上限金額について
- 自由記載

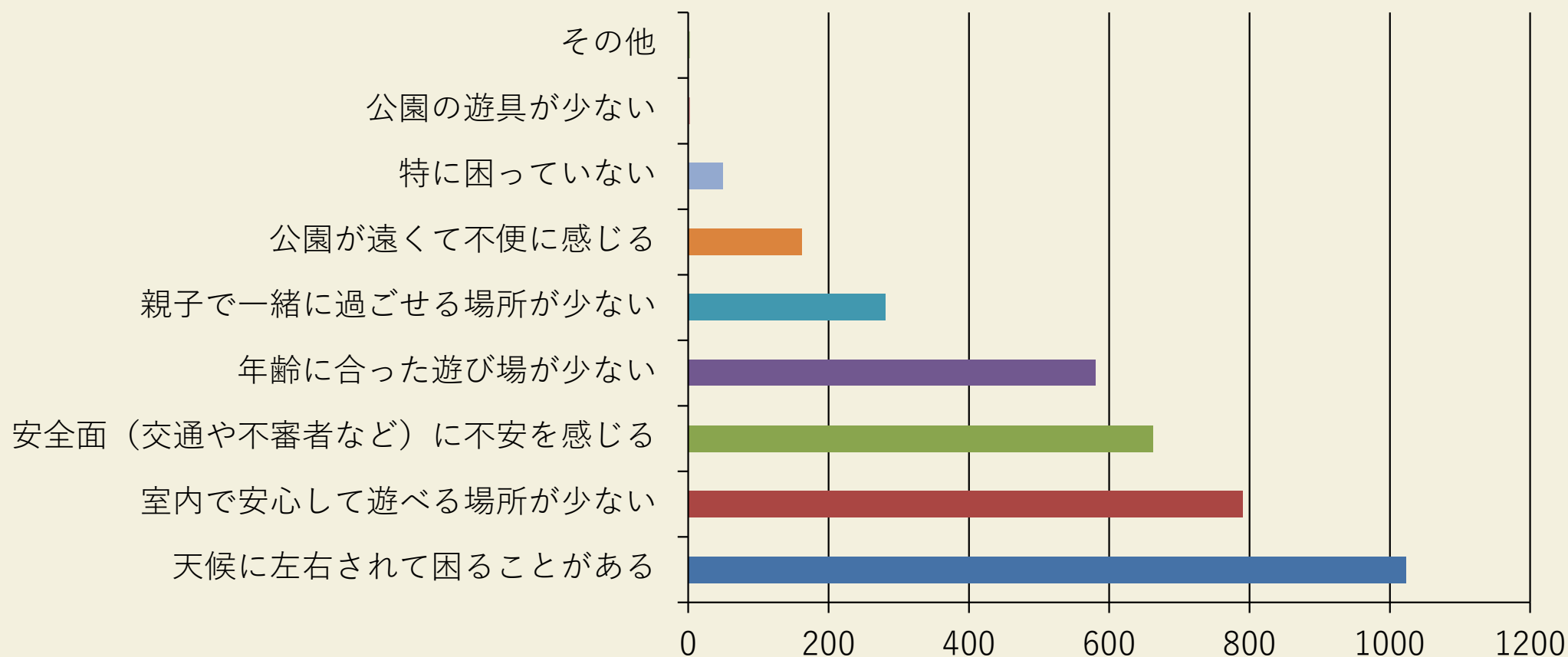
放課後はどのように過ごしていることが多いですか



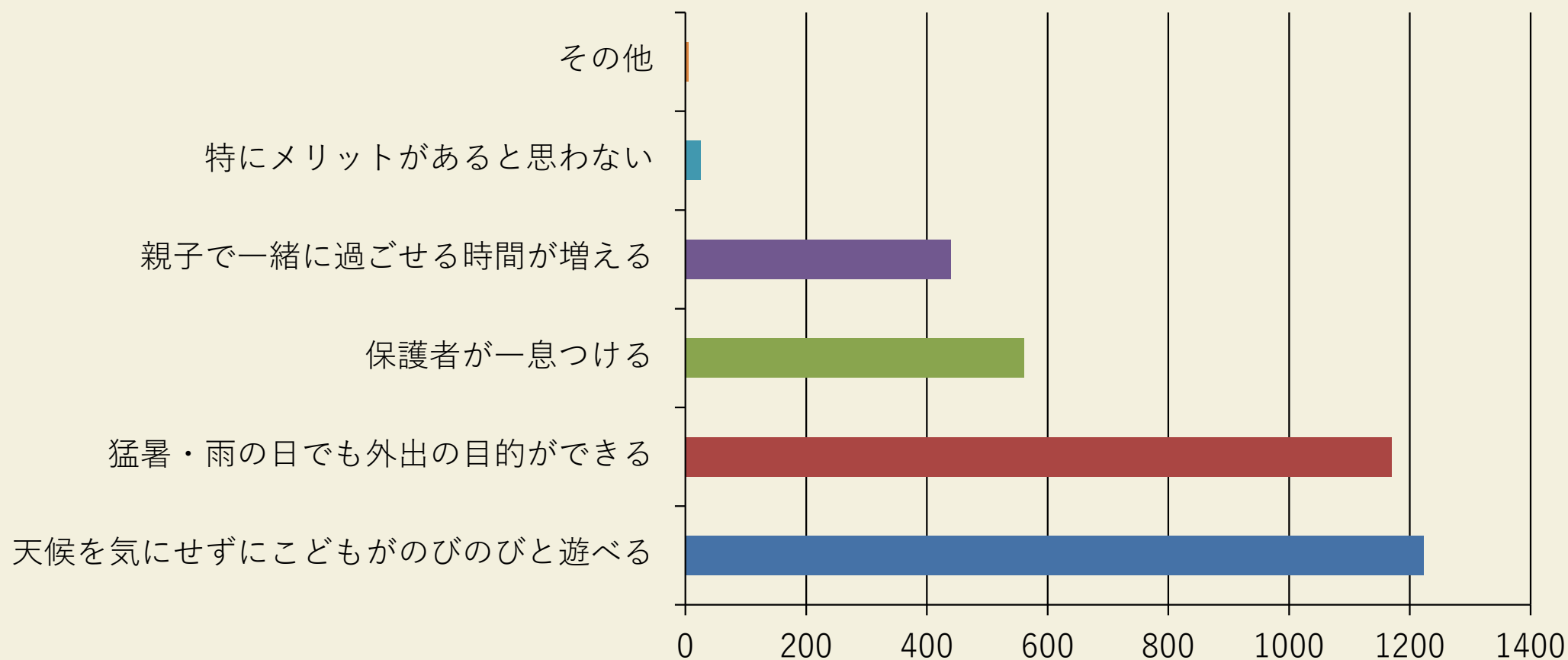
休日はどのように過ごしていることが多いですか



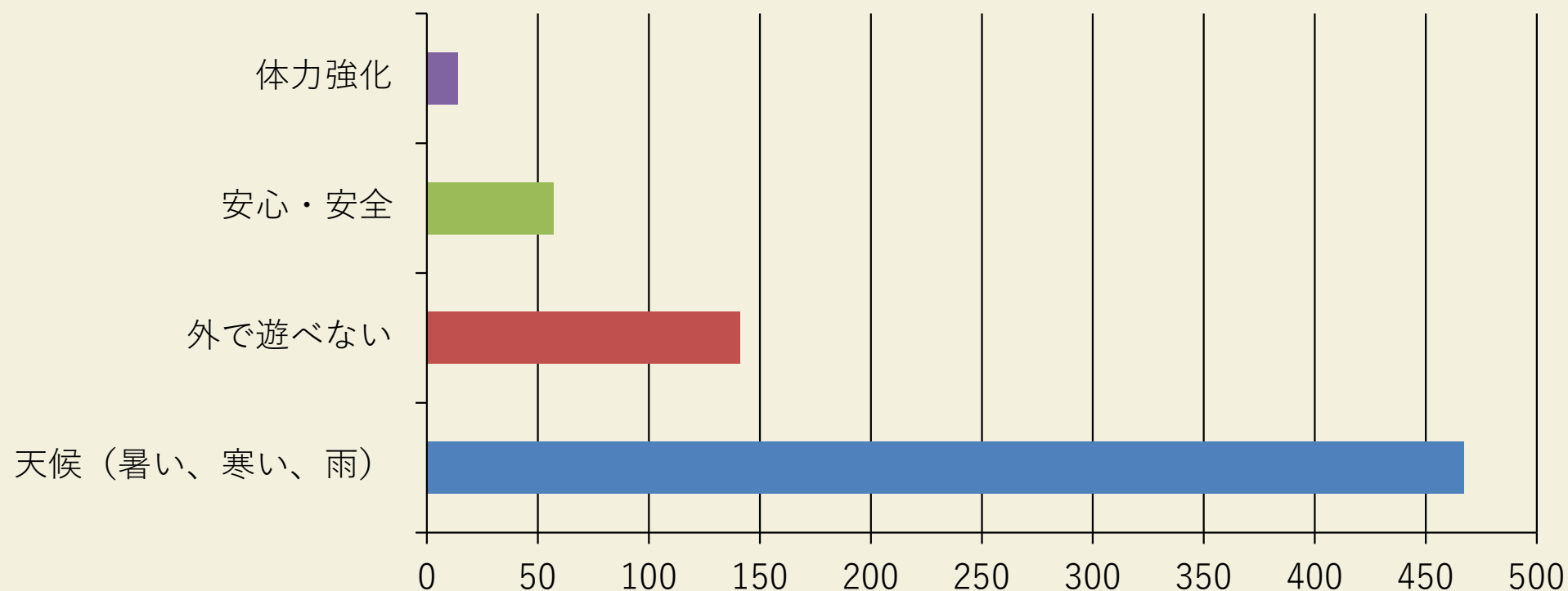
現在、市内でこどもを遊ばせる場所について、どのように感じていますか



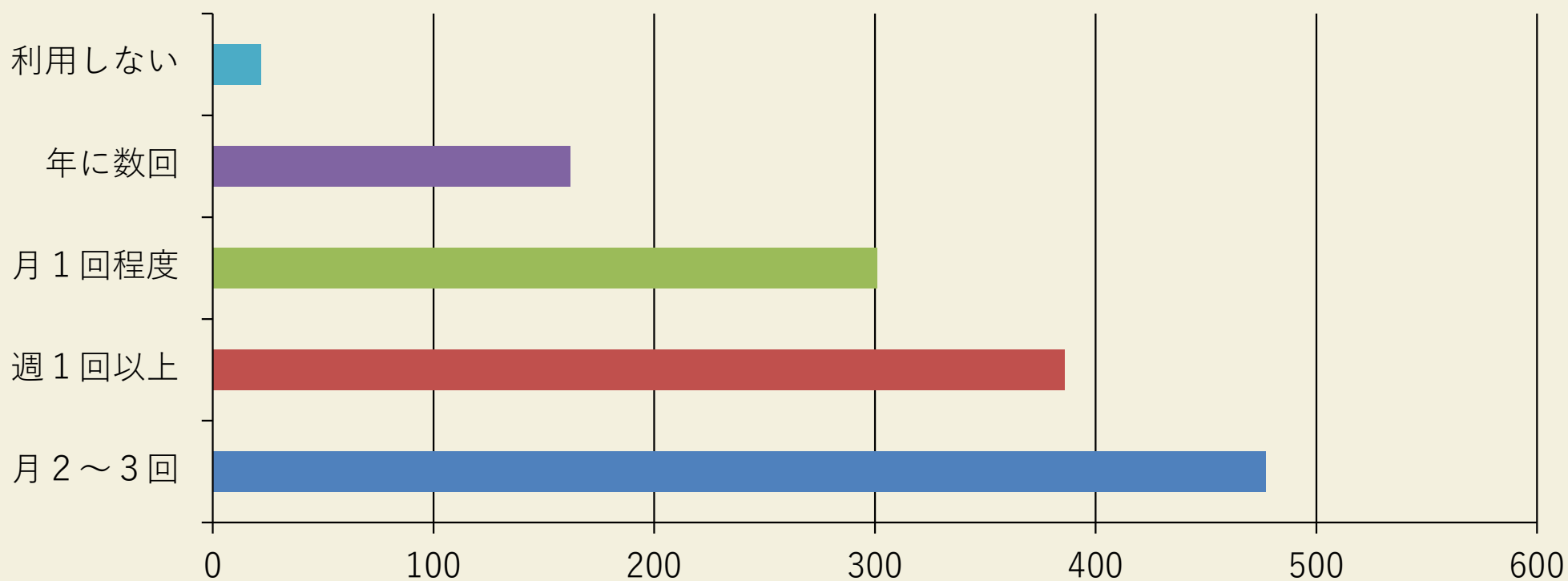
全天候型こどもの遊び場があることで、あなたやご家族にとって
どんなメリットがあると思いますか



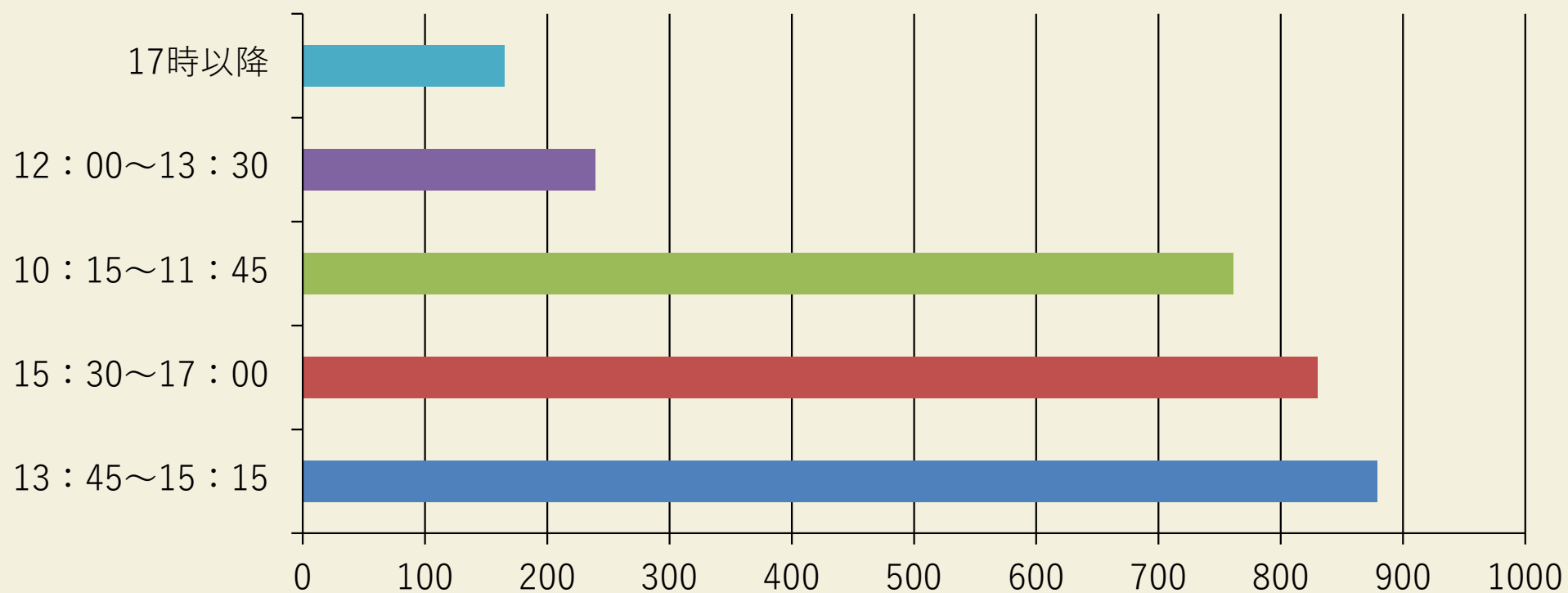
普段室内のこどもの遊び場を利用する方（民間施設を含む）はどのような理由で利用されていますか



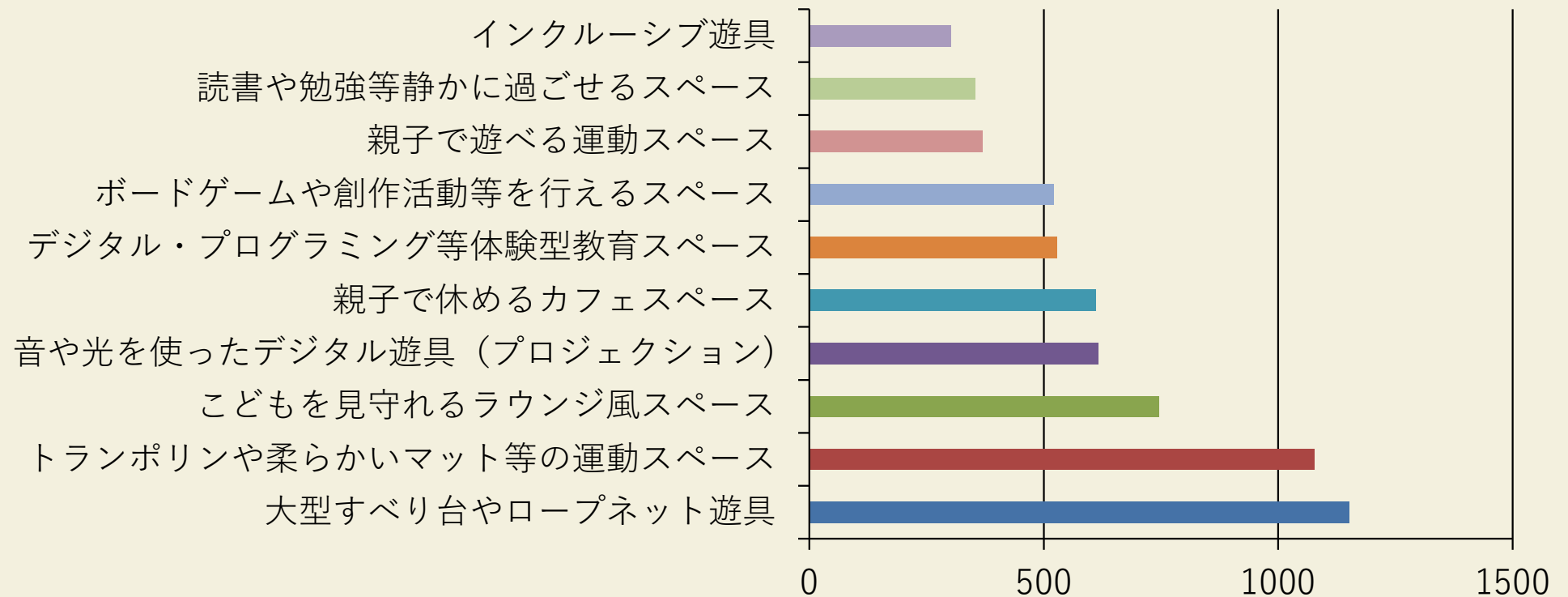
利用したい頻度について



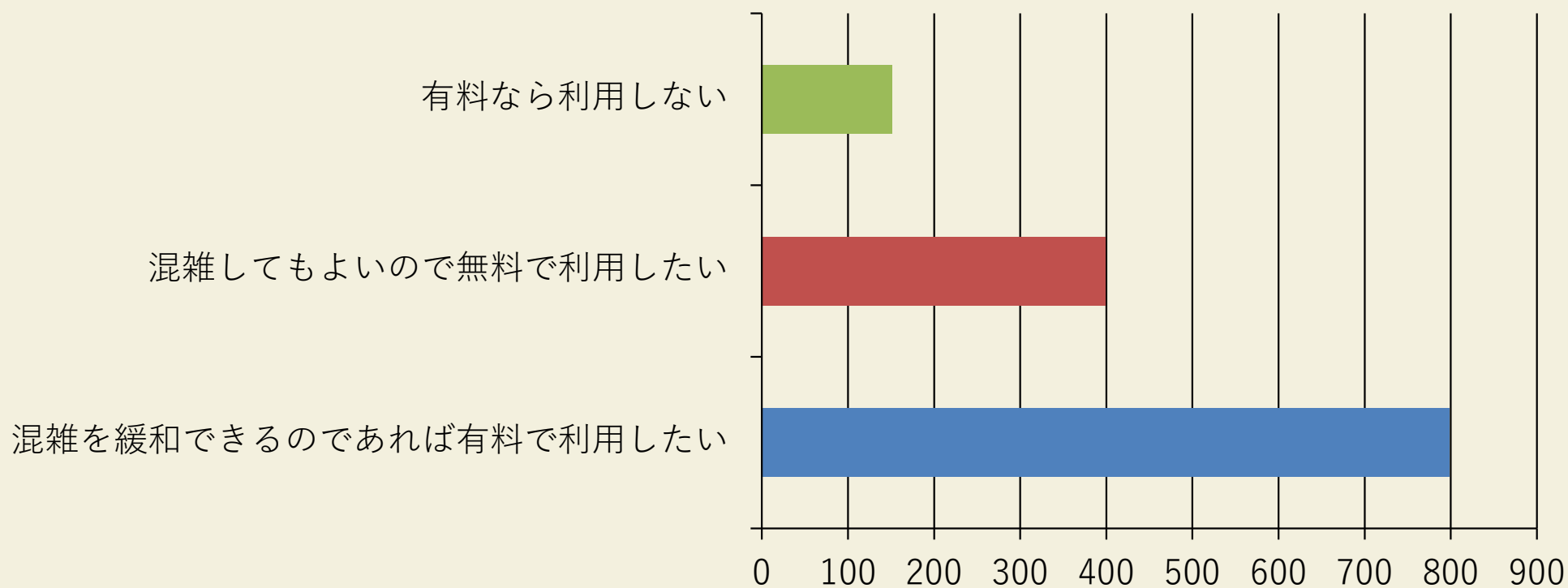
利用したい時間帯について



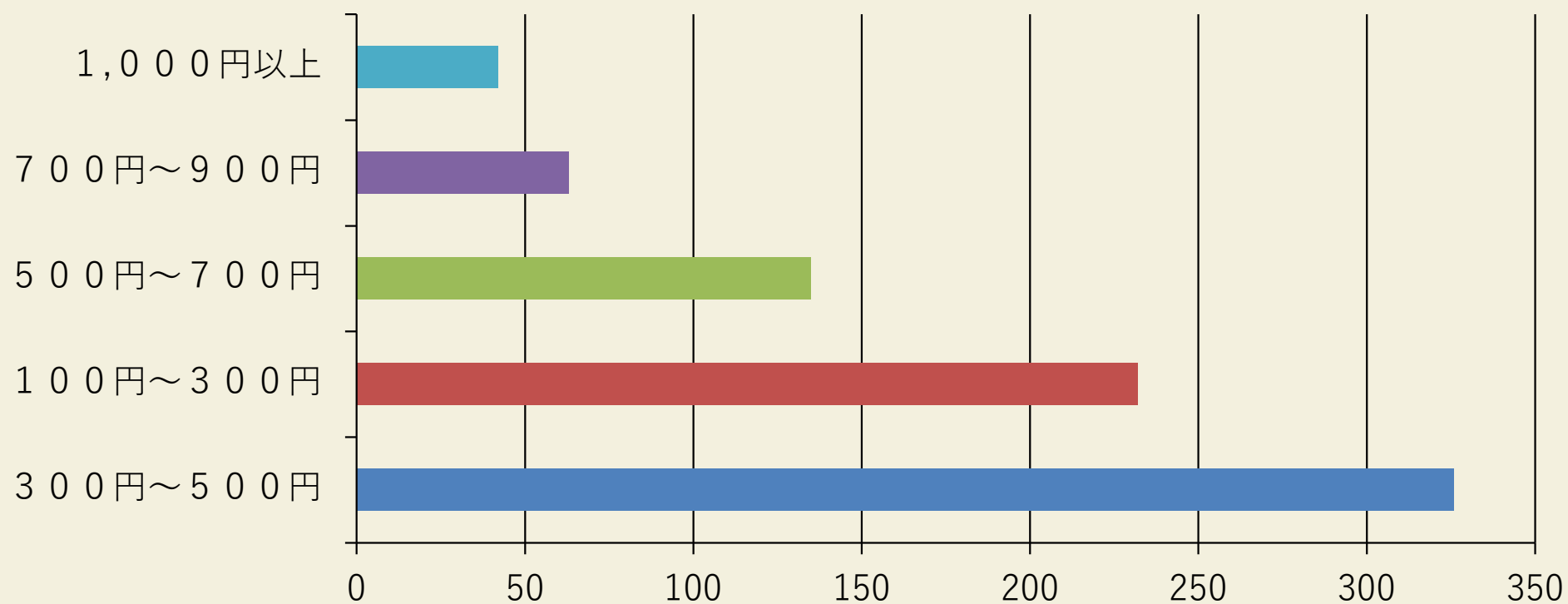
希望する設備・機能について（上位）



利用料金について



1 回あたりの上限金額について



自由記載（一部抜粋）

- ・小さい子向け施設はあるが、高学年が体を使って遊べる施設がない。猛暑で外遊びも困難。
- ・学童卒業後の居場所がなく、友達と安心して過ごせる場所が欲しい。
- ・夏は公園遊具も熱くなり、事実上外遊びできない。
- ・小規模施設ではなく小学生が十分に体を動かせる面積が必要。
- ・市外利用者で混雑し、市民が利用できなくなることを懸念。
- ・無料か有料かよりも安全な混雑管理が重要。
- ・民間施設は家族利用で高額になり頻繁利用できない。
- ・休日は近隣自治体へ遊びに行っている。
- ・広場中心でこどもが楽しめない。
- ・一か所では利用地域が限定される。
- ・高学年エリアと幼児エリアを分離してほしい。
- ・見守りスタッフを配置してほしい。
- ・ボール遊びや運動ができる広い空間が欲しい。

自由記載（一部抜粋）

- ・ 学校体育館や校庭の開放も検討してほしい。
- ・ こどもだけでも安心して利用できる環境が欲しい。
- ・ 市民料金と市外料金を差別化してほしい。
- ・ 定員制による快適運営を希望。
- ・ 兄弟で一緒に遊べる施設が必要。
- ・ 親が休憩できるカフェ・ラウンジ機能。
- ・ インクルーシブ施設化を進めてほしい。
- ・ STEAM教育や学び機能を併設してほしい。
- ・ 利用料サブスク制度を検討してほしい。
- ・ 地域コミュニティ形成の場として活用したい。
- ・ 千葉ニュータウン以外の地域にも整備してほしい。
- ・ ルールやマナーを守らせる管理体制が必要。
- ・ イベントや体験プログラムを充実してほしい。

調査結果の分析

- ・ 放課後/休日におけるこどもの過ごし方
- ・ 現在の遊び環境に対する課題認識
- ・ 全天候型こどもの遊び場に期待されるメリット
- ・ 利用頻度/利用時間帯から見る需要
- ・ 希望される設備/機能の傾向
- ・ 利用料金に対する意向と受容性
- ・ 総合結論と今後への示唆

放課後/休日におけるこどもの過ごし方

- **多様な過ごし方の実態**

放課後は、学童保育や自宅、友人宅、習い事に分散し、自由遊びが制約されている現状がある。

- **休日の過ごし方の傾向**

休日は、公園や家族での外出が多いが、猛暑や雨天時は自宅滞在が増加する傾向がある。

- **全天候型こどもの遊び場の役割可能性**

全天候型こどもの遊び場は、日常の動線に自然に組み込まれ、短時間や半日利用の多様な使われ方が期待される。

現在の遊び環境に対する課題認識

- **天候による遊び場問題**

放課後は、学童保育や自宅、友人宅、習い事に分散し、自由遊びが制約されている現状がある。

- **安全性への不安**

休日は公園や家族での外出が多いが、猛暑や雨天時は自宅滞在が増加する傾向がある。

- **年齢に応じた遊び場不足**

未就学児向け施設は多いが、小学生特に高学年が楽しめる遊び場が不足している。

- **全天候型こどもの遊び場施設の必要性**

全天候型こどもの遊び場は、現状の課題を解決しこどもの健全な成長に貢献できる。

全天候型こどもの遊び場に期待されるメリット

- **天候に左右されない遊び**

全天候型遊び場により、こどもは天候を気にせず自由に遊べる環境が提供されます。

- **安全で安心な環境**

親が安心してこどもを遊ばせられる安全な環境が整備されていることが重要です。

- **家族の時間増加**

親子が一緒に過ごす時間が増え、家族の絆が深まる機会が生まれます。

- **保護者の負担軽減**

保護者が一息つける場所となり、心理的/身体的負担の軽減につながります。

利用頻度/利用時間帯から見る需要

- **利用頻度の傾向**

月2～3回の利用希望が最も多く、定期的かつ日常的な利用が想定されている。

- **利用時間帯の特徴**

10時～11時、13時～15時、15時～17時の午後時間帯に利用ピークが集中している。

- **利用者の柔軟性**

複数時間帯の利用選択が多く、利用者は柔軟な使い方を想定している。

希望される設備/機能の傾向

- **体を動かす遊具**

大型すべり台やロープネット、トランポリンなど、体を大きく動かせる遊具が高い支持を得ています。

- **保護者向け滞在空間**

こどもを見守れるラウンジ風スペースや親子で休めるカフェスペースなどの快適空間も求められています。

- **知的好奇心を刺激**

デジタル遊具やSTEAM教育スペース、ボードゲームや創作活動スペースで学びや楽しみが広がります。

- **インクルーシブ遊具**

年齢や障がいの有無に関わらず利用できる多様なこどもを受け入れる遊具への関心が高まっています。

利用料金に対する意向と受容性

- **無料利用の意向**

多くの人が混雑しても無料での利用を希望しており、コスト負担を重視している。

- **有料利用の容認**

料金が混雑緩和につながるなら、有料でも利用したいとの回答も複数存在する。

- **料金設定の影響**

300円～500円が許容範囲の上限で、高額設定は利用控えに繋がる傾向がある。

- **割引と継続利用促進**

市民割引や家族料金、回数券やサブスクリプションの要望が多く、継続利用を促している。

総合結論と今後への示唆

- **保護者のニーズ**

保護者は、全天候型こどもの遊び場に高いニーズを持ち、安全と天候の不安解消を求めている。

- **複合型施設の理想像**

運動、学び、休憩を兼ね備えた複合施設が理想的で、日常利用が見込まれている。

- **料金と運営の課題**

低価格志向だが、安全管理や混雑緩和のメリットがあれば有料化も可能とされている。

- **今後の検討事項**

施設規模、ゾーニング、運営方式、料金体系の詳細検討が今後求められている。